

科目等履修生高度プログラム
(安全なデータ利活用のためのプロフェッショナル
人材育成プログラム)
構成科目一覧

時間割 コード	授業科目名	到達 目標	単位数			開講学期 (4学期制)	開講 曜日・時限	開講部局(課程)	備考
			必 修	選 必	選 択				
281384	最新セキュリティ特論 I	③	1			春～夏学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	一部 e-learning による受講あり
281385	最新セキュリティ特論 II	③	1			秋～冬学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	一部 e-learning による受講あり
281354	実践情報セキュリティと アルゴリズム	② ④		2		秋～冬学期	水曜日 6限	工学研究科 (博士前期課程)	
281349	離散数学と計算の理論	② ④		2		春～夏学期	水曜日 6限	工学研究科 (博士前期課程)	
281351	高度セキュリティ PBL I	④ ⑤		1		春～夏学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	英語/日本語による開講・集中
281352	高度セキュリティ PBL II	④ ⑤		1		秋～冬学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	集中
281353	高度セキュリティ PBL III	④ ⑤		1		秋～冬学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	集中
281381	高度サイバーセキュリティ PBL I	④ ⑤		1		春～夏学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	集中
281382	高度サイバーセキュリティ PBL II	④ ⑤		1		春～夏学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	集中
281383	高度サイバーセキュリティ PBL III	④ ⑤		1		秋～冬学期	未定	工学研究科 (博士前期課程)	集中
331511	情報ネットワーク経済学	①			2	春～夏学期	未定	情報科学研究科 (博士前期課程)	集中

【到達目標欄】の①～⑤は、以下の内容に対応しています。

- ①情報セキュリティ関連の知識・技術について理解している。
- ②情報セキュリティ基盤技術の原理について理解している。
- ③情報セキュリティリテラシーについて自分の意見を持ち、論じることができる。
- ④情報セキュリティ基盤技術を応用できる。
- ⑤セキュアアプリケーションを構築し運用することができる。

【カリキュラムの構成】

- ◇到達目標①の達成に必要な、情報セキュリティにかかるコストについて、経済学から見た側面を理解するために「情報ネットワーク経済学」を開講します。
- ◇到達目標②の達成に必要な数学と計算の理論を習得するために「離散数学と計算の理論」を開講します。
- ◇到達目標④の達成に必要な情報セキュリティとアルゴリズムの知識を習得するために「実践情報セ

別添①

- セキュリティとアルゴリズム」を開講します。
- ◇到達目標③の達成のために、「最新セキュリティ特論I, II」を開講します。
 - ◇到達目標④の達成に必要な実践力や応用力を身に付けるために、「実践情報セキュリティとアルゴリズム」「高度セキュリティPBL I～Ⅲ」「高度サイバーセキュリティPBL I～Ⅲ」を開講します。
 - ◇到達目標⑤の達成のために「高度セキュリティPBL I～Ⅲ」「高度サイバーセキュリティPBL I～Ⅲ」を開講し、実際にセキュアアプリケーションの構築を体験します。